

取組名称	追手町小学校150周年記念事業
団体名	追手町小学校150周年記念事業実行委員会
代表者氏名	実行委員長 齊藤一邦
地区名	橋南

取組みの目的	<p>追手町小学校は2022年8月に創立150周年を迎えました。これまで多くの卒業生を輩出し、長い歴史の中には多くの思い出がある地域のシンボルである小学校を想い、地域が主体となり何か記念となることを行えないかとの思いから活動しています。この取り組みにより、記念事業が滞りなく実施できることと、実施する中で橋南地区が小学校を住民の心の拠り所である小学校を媒介して気持ちをひとつにしていくことを目的としています。また、地域外にも多くいる卒業生への協力も依頼し、交流人口や関係人口の増加にも寄与できる取り組みにしていこうと考えました。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月22日（土）、23日（日）に記念事業を開催。</li> <li>・記念式典の実施、学校校舎の一般公開、記念誌の作成などを実施しました。</li> </ul>



説明

会議風景



説明

記念誌 座談会



説明

式典風景



説明

学校開放 風景

取組の経過	<p>約2年半にわたり30回以上もの会議や打ち合わせを経て、10月22日（土）、23日（日）に記念事業を開催しました。その取り組みの中で、記念式典の実施、学校校舎の一般公開、記念誌作成など実施しました。</p> <p>記念誌の発行にあたっては、過去の写真を一般に公募し地区内外から100枚以上の写真を集めたり、各年代のOBを集めての座談会を開催したりするなど、地域の中での小学校を再確認し、今後に繋がる機会として記念誌を作成しました。</p>
取組の効果	<p>当日は、児童・地域住民・PTAなど多くの方により運営され、2日間で延べ1000人もの方に来場していただきました。事前に新聞などで広く情報を発信したことで、当日は地域外の方も多く来場され、小学校を媒介にした地域内外の交流が生まれたと感じています。</p> <p>完成した記念誌は、学校児童に配布して、この小学校の歴史を感じてもらおうと共に、小学校への誇りや愛着を感じてもらい次世代へ繋がったと考えています。また、橋南公民館をはじめ、飯田中央図書館や飯田歴史研究所などへ寄贈し、今後記念誌を閲覧したい際にも対応できるよう配慮しました。</p> <p>事業実施にあたって、多様な個人または団体が協力して実施してきたことで、自分たちの事を自分たちで考え、意見を出し合い、実行するという公民館やムトスの精神の醸成が図られる実践ができました。</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この取り組みをしっかりと記録し、後世に残していけるように配慮する</li> <li>・これまでと同様に、コミュニティースクールでの実践を基に、地域の子供は地域で育てるというテーマを持って活動していきたいと思えます。</li> </ul>

○取組経費 （単位：円）

	事業費総額（見込み）	413,098
	うち助成金（見込み）	300,000
主な経費内訳 （上位3項目）	事業費	377,900
	事務費	22,509
	材料費	12,689

取組名称	上久堅観光案内看板改修事業
団体名	上久堅観光振興特別委員会
代表者氏名	委員長 松枝 敏文
地区名	上久堅地区

取組みの目的	<p>上久堅地区にも三遠南信自動車道ICが整備され、天龍峡大橋の供用開始により中央道へのアクセスがスムーズになり、今まで以上に来訪者を引き込める機会が増えることとなります。農業体験や林業体験等、主に体験型の観光を模索し実行することにより来訪者の増加につながると思います。上久堅の魅力をアピールし、次世代につながる取り組みに力を入れた施策を実施します。</p>
具体的内容	<p>令和4年度事業として上久堅観光案内看板の改修を計画しています。また下記の取り組みも実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①文供養への協賛</li> <li>②北田遺跡縄文時代復元家屋竣工お披露目会記念イベント</li> <li>③小川路峠へ登ってみようのウォーキング事業</li> <li>④神之峰観光開発事業の現地踏査を実施</li> </ul>



説明 神之峰整備をはじめ案内看板など検討



説明 神之峰現地調査を実施



説明 現在の案内看板



説明 まちづくり懇談会では取り組みをPR

取組の経過	<p>既存の上久堅観光案内看板は上久堅自治振興センター駐車場横と下平地区の県道と国道の交差点横に設置されています。この看板は当時上久堅観光協会・飯田商工会議所上久堅支部で設置された案内看板で、現在は記載内容が確認できないほど劣化し記載内容も不明確で旧情報が掲載された状況です。新たな看板の掲示内容は観光振興特別委員会で内容を検討し、また上久堅のホームページとリンクさせ案内地図に合わせ、上久堅の様々な情報を各端末から収集が可能となる仕組みを構築したいものであります。</p>
取組の効果	<p>看板をリニューアルすることで、まちづくりの取り組みの一つでもある「美しい景観づくり」を進める事にも繋がります。飯田市の東玄関口となった三遠南信自動車道上久堅ICも完成し上久堅を訪れる方も多くなることから、観光案内看板の役目として上久堅への来訪者がわかりやすくまた旬な情報を取得できるようになります。</p>
今後の取組	<p>(1)豊かな自然を生かした観光の推進に取り組みます。  ア 秋葉街道を生かした「小川川路峠へ登ってみよう」イベント活動の拡充  イ 桜の里としてのPR活動の実施、桜の名所をめぐる案内人の養成  ウ 農業、林業体験及び、農家民泊体験観光等のグリーンツーリズムの推進  エ 特産の松茸を利用した観光又は販売の実施  オ 上久堅のきれいな水やおいしい水を利用した観光  カ 星が綺麗に見える場所等、キャンプ場となり得る箇所  キ 四季折々の眺望が楽しめる場所における自然散策のため遊歩道整備  ク 地域特産品を生かした交流ができる直売場</p> <p>(2)神之峰城址、北田遺跡、秋葉街道、権現山等の魅力を伝える案内人養成支援を行ない、史跡を生かした観光の推進に取り組み。</p> <p>(3)地域観光のPRとして、地域住民が観光風景、体験内容について、ホームページ等で随時発信できるよう取り組み。</p>

○取組経費 (単位：円)

	事業費総額 (見込み)	645,260
	うち助成金 (見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	・支柱擬木加工費	220,000
	・新規看板設置施工費	66,000
	・デザイン費	33,000



取組名称	大宮通り桜並木ライトアップ事業（検察庁交差連前後から中電下までの区間延長・ラウンドアバウトの公園の一部まで）
団体名	大宮通り桜保存会
代表者氏名	井上 基
地区名	東野地区

取組みの目的	<p>冬季の桜並木通り全体と新しく再整備された隣接する公園を東中学生、各種ボランティアに企画から参加いただき点灯式を実施することで未来デザイン2028に沿った「田園回帰」人口減少をスローなカーブにする一助とする。並木全線をイルミネーションで電飾することで</p> <p>①人形劇の時計台と橋南、橋北地区からの交流人口増加                  ②公園とヤドリギ                  ③神社の夫婦杉と並木の電飾が一体となって、地域と大切な人たちに「交流と集いの舞間空間」、「恋の道・ラブストリート」を演出する。生徒たちに将来にわたって「故郷の思いでの場所」「帰ってみたい場所」「大切な人と歩きたい場所」とした取り組みとする。『いずれは、飯田で暮らしたい』の一助と成る事</p>
具体的内容	<p>①まちづくり会議、公民館、神社、橋北面白倶楽部と連携を深め3年計画で並木全体と隣接する公園を電飾で飾る。                  ②毎年、イルミネーション点灯実行委員会を立ち上げ（まちづくり、公民館、東野連合青壮年会、東中学校、桜保存会OB、社会福祉協議会、保存会）に飾付、撤去共同体制を整える                  ③東中学校と共同で点灯式を企画し、並木のりんご販売、吹奏楽の演奏を地域住民の集いの舞台とする。                  ④点灯式に東中学校の吹奏楽部演奏参加により生徒の家族、友人が集客を促進し高齢者と10代、親の多世代の集う空間を作り市内で「圧倒的な点灯式とする」。                  ⑤地域の企業に協力要請し飾付から会場設営、椅子、ベンチを点灯式に借用し、高齢化する世代にやさしい点灯式とする。                  ⑥野菜販売、サンタのボランティア参加の場所として地域の活性化となる空間とする。                  ⑦観客、吹奏楽にテント、ストーブ、風よけを設置して暖かい演奏会場とする。</p>



説明 飾り付けの朝、事前準備



説明 ヤドリギを公園に飾付



説明 点灯式と300人以上の観衆



説明 毎日の夕方、恋人たちの公園に

取組の経過	<p>○R3/12/11東中学校にR4イルミネーションの共同企画を打診          ○R4/6/1通常総会開催。イルミネーション購入計画の承認。※再整備された公園と、並木全体の新規購入予算(案)昨年度、イルミネーション電気代が3.7倍であったこと。見込み電気代10万円を審議承認。          ムトス助成金申請の承認          ○7/26ムトス助成金申請 ○8/18ムトス審査会 ○9/8ムトス助成金決定          ○9/10上原カメラ発注          ○9/14まちづくり会議に30万円の貸借申請書提出          ○10/3三役議、上原カメラ再発注承認          ○10/6上原カメラ支払い241,120円          ○10/14まちづくり会議貸借30万円入金          ○10/15上原カメラ機材引き取り          ○10/16上原カメラ支払い、226,270円          ○10/21第2回代表幹事会経過報告※飾付、撤去日程、点灯時間、点灯式スケジュール来賓要請者等認。          機材再注文、三役会承認で再発注入荷報告、点灯実効委員会要請承認          ○11/27飾り付け実施70人参加          ○12/10点灯式～点灯開始○ R5/1/9点灯終了○1/11まちづくり貸借金返金○ 1/15撤去作業70人参加</p>
取組の効果	<p>①飾付に保存会OB(飾付経験者)、連青、中学生、ボランティアと併せて総数70人が集まり全体を90分で終了し、昨年までの2倍の参加者数は「多世代間地域力の向上」、地域企業に協力いただいた会場創り、舞台設営は「持続可能な事業」と判断できる。          ②人形劇の時計台から神社までの電飾は車で通るだけでも自然と神社まで見に行きたくなる道、歩く人も毎日絶えず他地区からの人流の増加、若い夫婦、子供連れ、カップル、大切な人達が集う空間となった。          ③点灯式はボランティア参加野菜販売、サンタローズからのプレゼント、東中のりんご販売は、圧倒的な人流の場所、吹奏楽演奏は300人以上の観衆を集め、地域と子供たちの記憶に残る空間となった。今回実施したことにより「持続可能な点灯式」となり毎回、生徒と先生に楽しんで企画して頂ける舞台となる。昨年は生徒と先生で5人、今年は31人の参加を頂き飯田未来デザイン2028に沿った「持続可能なまちづくり」、私たちムトスのモットー「自分たちの町は自分たちで」、『魅力度向上』につながった。</p>
今後の取組	<p>○来年はムトス助成金事業の最終年度          ①隣接する公園の木、シラカシ、カツラ、キンモクセイをシンボルタワーとなる様に企画することで地域の魅力向上を図る。(見積り、デザインを橋北面白倶楽部に依頼中)          ②再整備された並木、公園を使って点灯式イベントの企画を東中学校と協働し「田園回帰」「田舎暮らし」「故郷の思い出の場所」を目指すことで「自然と子供たちが、まちづくりとムトスに参加している」と感じられる空間づくりとする。          ③構想中ですが、りんご並木70周年事業のイベントにイルミネーション点灯(動物園から神社までの全線、若しくは一部の区間)を橋南、橋北地区、東中と企画する。子供たちが「自主、聡明、愛他」の精神を育む舞台空間を地域全体で一緒に創る。「日本の道、百選」としての並木通り、中心市街地のシンボルとして圧倒的なイルミネーションを生徒が主体となって企画することで70周年のお祝いとしたい。リニア開通を見据えた「りんごと桜の、並木通り」、「訪れた人がまた来たいと感じる、並木通り」としたい。主役は、生徒たち。「自然とまちづくりと、ムトス事業に参加する空間」具体的には各地域、中学校と相談して新年度を迎えてからの取り組みとなります。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	467,390
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	イルミネーション機材購入費	467,390



取組名称	竹林活用プロジェクト
団体名	CHIKURIN
代表者氏名	宮内 雅
地区名	飯田市下久堅

取組みの目的	地区内に増加しつつある放置竹林を積極的に利活用することで、自然環境、景観の維持を図りながら竹を通じて人との繋がりを深めると同時に地域の活性化に取り組む。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼竹からのメンマ作り</li> <li>○通学路沿放置竹林伐採</li> <li>○子供たちへの竹遊び推奨（竹馬・竹馬等）</li> <li>○竹チップから発生したカブトムシの幼虫を保育園にお届け</li> <li>○竹パウダーを利用した有機農業の研究</li> </ul>



説明 保育園に届けたカブトムシの幼虫



説明 カブトムシ成虫



説明 メンマ試作品



説明 有機農法講習会

取組の経過	<p>4月26日 下久堅保育園にカブトムシ幼虫届け  5月22日 幼竹伐採とメンマ塩漬け  6月19日 味付メンマ試作  9月10日 有機農法講習会  10月2日 味付メンマ試作  10月22日 有機農法講習会  11月26日 有機農法講習会  以下実施予定  令和5年2月11日 竹林伐採と破砕機実演  企画会議を随時開催</p>
取組の効果	<p>○メンマ作りの方法として今までは塩漬けメンマを作成していたが、経験により今後は乾燥メンマづくりに取り組むことが会員の中で共有できた。  ○竹林整備活動を行っている近隣団体との繋がりのきっかけができ、今後の取組にお互い連携を図ることがお互い確認ができてよかった。  ○最近のコロナ禍において予定していた多くの事業が中止となり期待していた成果、結果が出せなかったことが残念。</p>
今後の取組	<p>○メンマ作りは「乾燥メンマで作る」ことが共有できたので今後は具体的に用途・方法の研究に取り組む。  ○竹林整備団体との連携を強化しながらネットワークづくりに努める。  ○コロナ感染もようやく落ち着きつつあるので竹関連のイベントを通じ地区住民に竹に対する関心を高めて行きたい。</p>

○取組経費 (単位：円)

	事業費総額 (見込み)	70,000
	うち助成金 (見込み)	49,000
主な経費内訳 (上位3項目)	原材料仕入	50,000
	会場使用料	15,000
	茶菓子・飲料・文具	5,000



取組名称	ONE SUMMER LIVE 2022
団体名	菅沼プレスリーBAND
代表者氏名	菅沼 文昭
地区名	上郷

取組みの目的	飯田りんごん祭りを盛り上げる為にライブイベントを催す。若者に帰郷を促す目的で、地元の高校生（飯田高校、風越高校が出演予定）に出演してもらい、お祭りと一緒に思い出作りの場を提供する。またコロナ禍で発表の場を失った地元ローカルミュージシャンに参加してもらう。投げ銭の収益はウクライナチャリティとして高森町と飯田市に避難しているウクライナの人々に寄付する。
具体的内容	丘の上の並木横丁（飯田市本町1-10）にある野外ステージを借りてMUSIC FESTIVALを開催する。午後13時30分からスタートし、前半がアコースティック部門の発表とし、後半は16時30分～よりバンド部門の発表となる。出演者は、コロナ禍で発表の場を失った地元のローカルミュージシャンの他、地元の高校生達も出演する。今回は、飯田風越高校のギター班、飯田高校の2バンド 10代の社会人2名が出演予定である。コロナ感染症対策として、出演者全員に抗原検査を実施し陰性の者だけ出演できることとする。手洗い、マスク着用、定期的な消毒を実施する。



説明

飯田高校バンド



説明

風越高校フォークソング部



説明

ディナ&カテリーナ



説明

ウクライナ人と記念写真

取組の経過	<p>新型コロナの影響で飯田りんごんは中止となったが、長野びんずる・松本ぼんぼんの開催及び、コロナ感染症を2類→5類引き下げの議論も始まった為、感染症対策を実施して2022年8月6日に予定通り開催された。出演者は社会人の他に風越高校のフォークソング部、飯田高校から2バンド、10代の社会人のパフォーマーも参加した。ウクライナとロシアの戦争の影響により空手禅道会を通じて避難してきていたウクライナ人のディナとカテリーナもウクライナの花の歌や反戦の歌を披露した。社会人の中には伊那から駆け付けたパフォーマーもいた。出演者の年齢も10代～60代まで多様なイベントとなった。</p>
取組の効果	<p>大人が音響設備を整えて、高校生の皆さんは楽器だけ持ってくれば、参加することができ、コロナ禍ではあったが地元で夏の思い出を作ってもらうことができた。このイベントをきっかけに地元で愛着をもってもらい、ひいては地元で就職するなど、若者の帰郷を促すことにつながればと考える。コロナ禍によって発表の場を失ったパフォーマーや地域のローカルミュージシャンに出演の機会をつくることができた。戦争の影響で避難してきたウクライナ人も歌ってくれて国際交流と平和を考える機会になった。ウクライナのチャリティとして募金も募り、合計55,252円集まった。これを半分ずつ飯田市と高森町にウクライナ人道支援に使う目的で寄付することができた。</p>
今後の取組	<p>このイベントはコロナで3年ぶり6回目の開催となるが、地域の高校生など若い人から高齢のパフォーマーまで、幅広い世代の方々が参加でき、夏の思い出ができるのが魅力だと思います。今年りんごんが中止になってしまったが、りんごんが開催されれば、もっと沢山の人が来て盛り上がると思うので継続して来年以降も開催していきたい。コロナによって運営スポンサーを募るのが難しい状況だったので、このような助成金をいただけることは本当に助かります。</p>

○取組経費 (単位：円)

	事業費総額 (見込み)	170,200
	うち助成金 (見込み)	113,000
主な経費内訳	月刊いいだ広告掲載料 チラシ代	112,200
(上位3項目)	音響機材レンタル PA一式	58,000